記載例

第２号様式（第６条関係）

令和　８　年　７　月　10 日

霧島市長　　殿

住　　所　霧島市国分中央三丁目●●－●●

申請者　団 体 名　●●通り会　印

代表者職・氏名　会長　●●　●●　㊞

誓約書兼同意書

霧島市物価高騰対策支援事業（商店街等）給付金の交付を申請するに当たり、次の内容について、誓約し、及び同意します。

１　給付金に係る交付対象要件を満たしています。また、これまでに霧島市物価高騰対策支援事業（商店街等）給付金（以下「給付金」という。）を申請し、及び交付を受けたことはありません。

２　記載事項及び証拠書類等の内容に虚偽はありません。

３　本申請の内容に関し、霧島市から調査、報告、訂正などの求めがあった場合には、速やかにこれに応じます。

４　偽りその他不正の手段により給付金の交付を受けたことが判明した場合には、給付金の支給の取消し及び返還に異議なく応じます。

５　団体の構成員は、次に掲げるものではありません。

ア　特定の宗教活動又は政治活動を目的としている者

イ　風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和 23 年法律第 122 号）に規定する性風俗関連特殊営業又は当該営業に係る接客業務受託営業を行う者

６　団体の構成員は、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第 77 号）第２条第２号に規定する団体をいう。以下同じ。）又は暴力団関係者（暴力団の構成員若しくは暴力団に協力し、関与する等これと関りを持つ者又は集団的若しくは常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の関係者であるとして、警察等捜査機関から通報があったもの若しくは警察等捜査機関が確認したものをいう。）が経営又は運営に実質的に関与していると認められる法人等ではありません。

７　上記６に該当する法人等であることを知りながら、当該法人等を不当に利用している事実はありません。

８　霧島市長が、上記５のイ、６及び７を確認するため、必要な事項を鹿児島県警察本部長に照会することについて同意します。